



令和元年10月14日(月)
国土交通省 関東地方整備局
港湾空港部

記者発表資料

台風19号に関する関東地方整備局港湾空港部の活動状況

台風19号により関東地方を中心に記録的な災害となっています。
東京湾の川崎市東扇島沖で発生した、貨物船「JIA DE」沈没による流出油回収作業について、これまでの活動状況についてお知らせします。

「べいくりん」の活動状況

関東地方整備局の清掃兼油回収船「べいくりん」が10月13日(日)より現地で回収作業を開始しております。

なお、本日10月14日(月)は吸着マットによる油回収および放水銃を使用した作業を行いました。状況および「べいくりん」の概要については別紙のとおりです。

発表記者クラブ

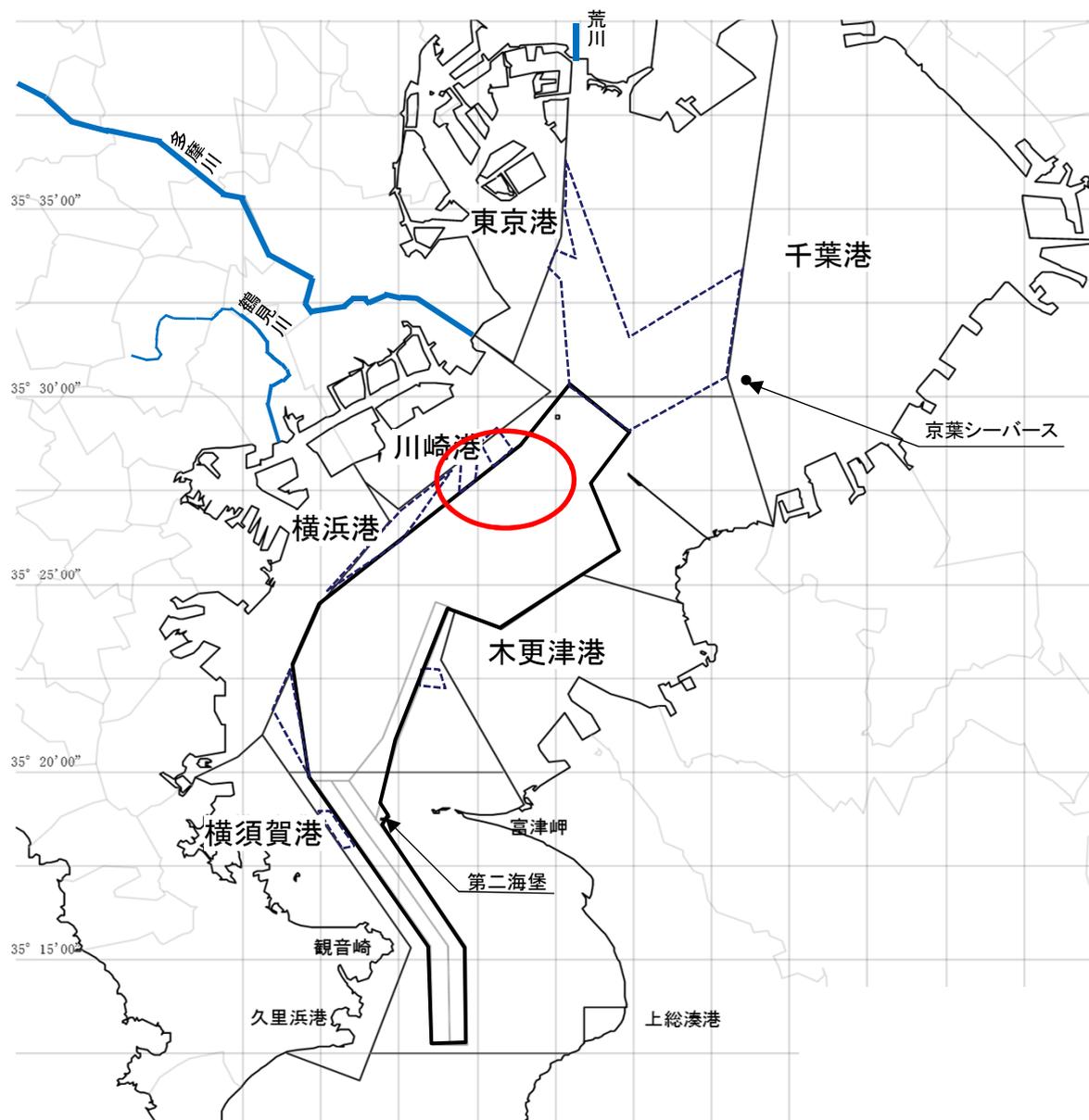
竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、
横浜海事記者クラブ、千葉県政記者会

問い合わせ先

関東地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課
課長 高橋 康弘(たかはし やすひろ)
電話 045-211-7420 FAX 045-211-0204

関東地方整備局 千葉港湾事務所
副所長 長谷川 清治(はせがわ せいじ)
海洋環境・防災課長 中村 浩明(なかむら ひろあき)
電話 043-243-9172 FAX 043-243-1939

東扇島沖における「べいくりん」による油の回収状況



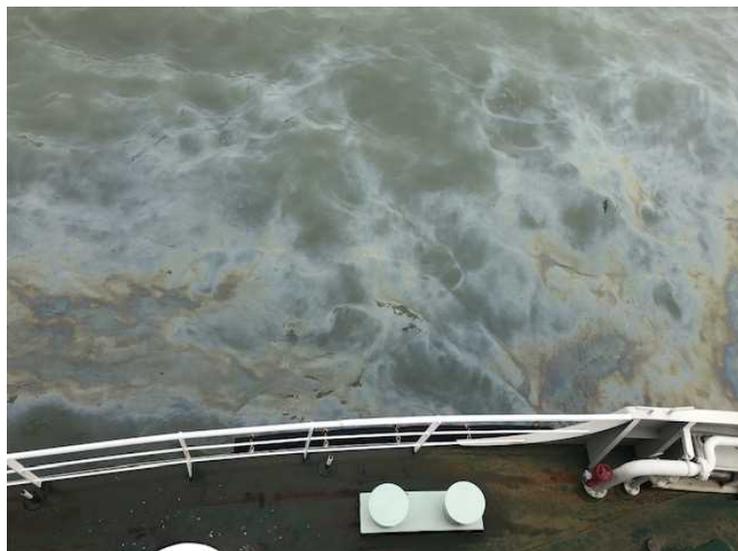
- 凡例—
- 主な回収位置
 - ▭ 開発保全航路 ※1
 - ▭ 緊急確保航路 ※2

※1 港湾区域及び河川法に規定する河川区域以外の水域における船舶の交通を確保するため開発及び保全に関する工事を必要とする航路をいい、その構造の保全並びに船舶の航行の安全及び待避のため必要な施設を含むものとして、関東地方整備局が開発及び保全を行う航路。

※2 非常災害が発生した場合において、港湾区域、開発保全航路及び河川区域以外の水域における船舶の交通を緊急に確保する必要があるものとして、関東地方整備局が担務する航路。



油の回収へ向かう「べいくりん」



東扇島沖に流出した油



吸着マットによる油の回収状況



吸着マットによる油の回収状況



放水銃による流出油の拡散

清掃兼油回収船「べいくりん」の概要

関東地方整備局 千葉港湾事務所 所属



「べいくりん」
全 長:約32.5m
全 幅:約11.6m
総トン数:約199トン



“べいくりん”の業務

「海洋環境整備事業」の一環として、東京湾の一般海域において「浮遊ゴミの回収」や、東京湾の環境メカニズム解明のために、「水質及び底質の調査」を定期的に行っています。

また、油流出事故や、大地震などの災害が発生した場合には「浮遊油の回収」や「航路の啓開」を実施します。



油回収器



スキッパー



ゴミコンテナ



多関節クレーン

東日本大震災時の活動

震災直後には地震の揺れにより、千葉県市原市の製油所のタンクが破損したことにより流出した油の回収作業に当たりました。

また、海上物流拠点の仙台塩釜港や石巻港周辺海域で約1ヶ月間、がれきの撤去作業を行いました。